

学校集会から

7月20日(木)の学校集会で次のようなことをお話しいたしました・

～4月の始業式から3ヶ月が過ぎました。この3ヶ月間、皆さんはいろいろなところで頑張ってくれましたね。5月の修学旅行や野外活動、6月の中総体、7月の合唱コンクールといった行事にしっかりと取り組んでくれました。

季節が春から夏に変わったように、皆さんも着実に成長している姿を見せてくれ、とてもうれしく感じます。行事の準備やその過程、振り返りなどを通して、皆さんのものの見方、考え方も変わってきていると思います。

仙台市標準学力検査の結果が出て、個々に返されるとは思いますが、その中で生活・学習状況調査というアンケートをしましたが、覚えていますか？その結果についてあまり聞いたことがないと思うので、その一部を紹介したいと思います。

まず、今からいくつか、数字を見せます。何の数字かわかりますか？

これは、皆さんの地域に関する意識調査です。各学年の生徒の割合を示しています。

実は、「地域の行事に参加している」と答えた生徒の割合です。下の黒い数字は仙台市内の平均の数字です。(戻す)

皆さん、1年 71.4 2年 64.8 3年 80 と、市内の生徒より地域の行事に参加しているのですね。これが生地の良いところですよ。

次の数字を見てください。これも地域に関する数字です。

すべての学年で90%以上です。二年生はなんと100%なんてすごいですね。

これは「地域の中で知っている人に会ったときは、あいさつをしている」と答えた生徒の割合です。すばらしいです。みんな知らんぷりせず、しっかりとあいさつができていますのですね。とっても大切なことです。

次は皆さん自身に関する数字です。青と赤の数字があります。違う質問での回答ですが、どちらもどの学年も90%以上と、高いです。ほとんどの人がそう思っていることなのですが。実は、赤の数字は、「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」と考えている人。青の数字は、「人の役に立つ人間になりたいと思う」と考えている人の割合です。すばらしいですね。こんな風に考えられる人って素敵です。周りを明るく、楽しくすることができる人だと思います。

最後に、もう一つ数字を見てください。

1年 78.6 2年 42.9 3年 66.7 と今までと違ってやや低いですね。これも皆さん自身に関する数字です。何の数字かわかりますか？

実は「自分には良いところがあると思う」と考えている人の数字です。

「自分に良いところがある」と感じている人は、自分に自信がある人です。自分に自信がある人は、他人にも親切にできます。積極的に前向きに行動することができる人です。いろいろな人と関わる中で、友人関係に悩んだりすることがあると思いますが、「自分に良いところがある」と感じている人はその悩みも前向きに克服することができます。

では、どうやったら「自分には良いところがある」と思えるのでしょうか？

いろいろな方法があると思いますが、その中の一つには、「他人の人の役に立つこと」「他の人のためになることを自分から行うこと」そして「自分が人のために役立っていることを自覚すること」です。

では、どうすれば良いでしょうか？そのうちの一つがボランティア活動です。地域での行事に参加し、地域のために何か働いてみることもその一つですね。他人や地域のために働いてみる。働いている自分を振り返る。家族や学校の先生ではない人との関わり、人のために働いているという実感、その人たちから「ありがとう」と認められる。皆さんは「あっ。なんかいい感じ」と感じる。そういう積み重ねをしていく中で、「自分って良いところがあるよな」と思えるようになってくるのです。

地域だけでなく、他人のために何かをしてあげる。見返りを求めずにやる積み重ねが、自分を満足させます。そして最終的に皆さんを成長させるのです。

ところで、本当に皆さんには良いところがないのでしょうか？

これは皆さんの活動写真のほんの一部ですが、人のために応援し、みんなが明るく過ごせるようにあいさつ運動をし、新入生のために幕のしわを伸ばし、防災訓練で熱いご飯を分ける。そういうことが自然にできる皆さんに良いところがないわけがないじゃないですか。まじめに一生懸命に、人のために働ける素敵な中学生です。

この「自分には良いところがある」という気持ちは、これからの長い人生の中で『心の基礎体力』になります。運動部の皆さんは、中総体などに向けて基礎体力づくりをしたと思います。吹奏楽部の人も楽器を吹くための基礎体力作りをしています。でもこれは一日でつくものではなく、毎日毎日の積み重ねをすることで、ふと気がつくと、疲れなくなっていると感じたと思います。これが基礎体力です。

『心の基礎体力』も同じです。今日から毎日の小さなことでもかまいません。明日からの夏休みには、他人のために、地域のために、何かをしてあげる、貢献することで、自分の心の基礎体力を付けてください。

何をやったら良いか分からない人は、まずは知っている人に会ったらあいさつするということから始めてみてはどうですか。

『自分は毎日、知っている人にあいさつができる。といういいところがある』と思えると思います。実は皆さん普段からやっているのですよ。

さて、明日から夏休みです。家族のために役に立つこともしてください。そして心の基礎体力作りも心掛け、有意義で楽しい、事故のない休みを送ってください。

All work and no play makes Jack a dull boy

「よく学び よく遊べ」です。集中力を高めて、勉強するときには勉強する、遊ぶときには遊ぶ、家の手伝いをするときには手伝いをする、というようにメリハリをつけて頑張ってもらいたいと思います。

夏休み明け、更にたくましくなって元気な姿を見せてほしいと思います。～